

課 題 等	課題解決のための方向性
<p>(1) 訪問診療・看護の担い手不足</p> <p>(原因)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材不足</li> <li>・コスト面</li> <li>・診療報酬制度などの複雑さ</li> </ul>	<p>(1) 訪問診療・看護にかかわる施設の充実                      ex：地域密着型の在宅専門クリニック                      訪問看護ステーション                      看護小規模多機能型居宅介護、                      定期巡回・随時対応方訪問介護看護 など</p> <p>取り組みの例：経営支援                      人材の確保・定着支援</p>
<p>(2) ときどき入院、ほぼ在宅の実現</p>	<p>(2) 患者・病床空き情報の共有化、連携体制確保</p> <p>取り組みの例：既存システムの運用強化</p>
<p>(3) 自宅での看取り対応</p>	<p>(3) ACPの普及                      (患者本人や家族・社会の理解など)</p> <p>取り組みの例：周知啓発</p>
<p>(4) かかりつけ医と在宅専門医の連携のあり方</p>	<p>(4) 在宅患者の医療提供体制の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりつけ医による訪問診療継続</li> <li>・かかりつけ医と訪問専門医等とのグループ診療</li> <li>・訪問専門医へ引継ぎ</li> </ul> <p>取り組みの例：グループ診療の体制確立に向けた支援</p>
<p>(5) その他                      老々介護、老障介護、障障介護</p>	<p>(5) 患者本人や家族ニーズの把握</p> <p>取り組みの例：ニーズ調査</p>